

リハビリテーション看護	4年・後期	1単位	准教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121054

1. 授業のねらい・概要

リハビリテーション看護分野の概念をふまえ、看護の役割や機能を学ぶ。具体的には、リハビリテーション看護を必要とする対象を包括的に理解し、発達段階や健康レベル、障害の種類からみた対象の特性と看護介入の特徴を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. リハビリテーション看護の定義や流れが理解できる。
2. リハビリテーションチームの対象や特徴、役割、機能が理解できる。
3. 疾病発症後の時期や機能障害に対応したリハビリテーション看護が理解できる。
4. 障害をもつ人の看護過程の特徴が理解できる。

3. 授業の進め方

講義を中心に進める。学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画（講義）

1. リハビリテーション看護の概念
2. リハビリテーションチームの特徴、役割、機能
3. 機能障害別リハビリテーション看護（1）運動器系の障害
4. 機能障害別リハビリテーション看護（2）中枢神経系の障害
5. 機能障害別リハビリテーション看護（3）呼吸器・循環器・感覚器系の障害
6. 障害を持つ人の機能評価と生活援助技術
7. 疾病発症時期と看護過程
8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）100%

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統別看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 最新版
参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要であり、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験直後口頭でフィードバックするか、後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

この科目は選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。